

## 目 次

## I. 総括研究報告

嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズム等作成のための研究

倉田なおみ

(資料)

研究要旨	-----1
分担研究者	-----1
A. 研究目的	-----2
B. 研究方法	-----2
1. 嚥下障害を有する施設利用者の薬の服用方法に関する調査（服薬状況調査）	-----2
2. 服用した薬の口腔内、咽頭残留に関する調査(残薬調査)	-----2
3. 嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズムの作成	-----2
4. 直接服薬介助に関わらない他のスタッフの嚥下障害に対する関り	-----3
5. 入退院時における地域スタッフと、服薬に関して共有するための情報ツールの作成	-----3
6. アルゴリズム作成後のアンケート調査	-----3
7. 書籍の発刊	-----3
C. 研究結果	
1. 嚥下障害を有する施設利用者の薬の服用方法に関する調査（服薬状況調査）	-----3
2. 服用した薬の口腔内、咽頭残留に関する調査(残薬調査)	-----5
3. 嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズムの作成	-----6
4. 直接服薬介助に関わらない他のスタッフの嚥下障害に対する関り	-----13
5. 入退院時における地域スタッフと、服薬に関して共有するための情報ツールの作成	-----14
6. アルゴリズム作成後のアンケート調査	-----17
7. 書籍の発刊	-----17
D. 考察	
1. 嚥下障害を有する施設利用者の薬の服用方法に関する調査（服薬状況調査）	-----17
2. 服用した薬の口腔内、咽頭残留に関する調査(残薬調査)	-----17
3. 嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズムの作成	-----17
4. 直接服薬介助に関わらない他のスタッフの嚥下障害に対する関り	-----17
5. 入退院時における地域スタッフと、服薬に関して共有するための情報ツールの作成	-----17
6. アルゴリズム作成後のアンケート調査	-----17
7. 書籍の発刊	-----17
E. 結論	-----18
F. 健康危険情報	-----18
G. 研究発表	-----18
H. 知的財産権の出願・登録状況	-----18
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----19